

サクランボ特報

No.1

平成 29 年 3 月 17 日

JA 中野市営農センター

JA 中野市サクランボ部会

現状、他品目の生育が平年並みに推移しており、サクランボの発芽も平年並みと予想されます。今後の気象状況によって変動しますので、園の生育状況をよく確認して適期作業と防除に努めましょう。

(平岡)

佐藤錦	平年	H28	H27	H26	H25	H24
発芽日	4/5	4/1	4/2	4/5	4/2	4/10

＊発芽前の防除

散布時期：発芽前（3月下旬）

散布薬剤 水 97ℓ 当り
スプレーオイル 3.3ℓ

散布日	月	日
散布量	ℓ	

対象病害虫：カイガラムシ類、ハダニ類

散布量：10a 当り 300ℓ

＊カイガラムシ類の多発園は、アプロードフロアブルの 1,000 倍(7 日前、2 回)を加用する。

＊スプレーオイルに変えて石灰硫黄合剤の 10 倍（発芽前）でもよい。（胴枯病対策）

＊石灰硫黄合剤は、隣接する園地やハウスビニールにかからないよう注意する。また、他の薬剤と混用せず、単用散布とする。

＊胴枯病の枝は切り取り焼却する。部分的な患部は削り取り、トップジンMペーストを塗布する。

＊コスカシバ対策 薬剤散布による防除を行なう場合は、下記のいずれかを実施する。

- ①発芽前にラビキラー乳剤 200 倍（発芽前、1 回）を樹幹部および主枝に散布する。
- ②開花期までに、フェニックスフロアブルの 500 倍（開花期まで、1 回）を樹幹部および主枝に散布する。（10a 当り 5～40ℓ）